

ジャマイカ便り

第7号5月

2024年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024年度1次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子（まぶち もえこ）です。私は先月中旬から約1週間、任国外旅行でペルーを訪れました。ずっと行ってみたかった国だったので、またひとつ夢を叶えることができ、とても嬉しく思います。ジャマイカでは日本食を手に入れるのが難しいのですが、ペルーには日系人が多く住んでいるため、日本食が豊富に売られています。そのため、たくさんの日本食をお土産として買って帰ってきました。まるで日本に行ってきたかのようで、自分でも思わず笑ってしまいました。そして、いつもお世話になっている大家さんや上司にもお土産を渡しました。喜んでもらえて良かったです。さて、今回は第7号ジャマイカ隊員に聞いた「ジャマイカあるある」について紹介したいと思います！



マチュピチュ遺跡



ペルーの首都「リマ」



日本食料理屋

ジャマイカあるある その1

「Soon come」が本当に「soon」じゃない！

私：「トイレの水が流れっぱなしなんだけど、来てくれる？」

業者さん：「Mi soon come!」（すぐ行くよ！）

1時間後、来ない。3時間後、まだ来ない。

夕方に電話したら「Yeah man, mi soon come!」再発動。

翌日登場。しかも笑顔で「Long time!」（久しぶりだね!）と言われる！（笑）



ジャマイカ隊員の辞書には、「Soon come」の意味として、「今は無理だけど、行く意思はあるよ」「急いではないけど、忘れてはないよ」「プレッシャーかけないでね(笑)」と書かれています。これは「そのうち行くつもりではいる」という気持ちの表明であって、時間の約束ではありません。実は、本人たちもそのことを自覚しているようです。ジャマイカに来たばかりの頃、私が「全然、Soon じゃないじゃん!」と同僚に言ったところ、大爆笑されながら「それがジャマイカ人の文化だよ〜」と教えてくれました。悪意があるわけではないので、結局は許してしまいます(笑)

ジャマイカあるある その2

どこでも歌って踊る！時間帯関係なし！

ジャマイカといえば、やっぱりレゲエ音楽。どこからともなくレゲエやダンスホールが流れてきます。バスの中はまるで DJ ブースのようで、イベントのときには必ずと言っていいほど、歌と踊りの時間があります。私が任地に引っ越したときには、大家さんが自前の大きなスピーカーを持ってきて、突然大音量で音楽を流し始めました。何かとっていると、いきなり歌い出し、そして踊り始めたのです。大家さんは「ジャマイカには、踊り一つ一つに名前があるんだぞ」と言い、1 時間ほどかけて全てのダンスを披露してくれました。中でも私のお気に入り「バタフライ」というダンスでした。どこでも歌って踊るその姿からは、陽気でフレンドリーなジャマイカ人の性格がよく表れていると感じます(笑)



大家さんの自前スピーカーと踊り



年に1回のカーニバル

ジャマイカあるある その3

お腹が空いたら道端のフルーツを食べる！

ジャマイカの市場に行くと、日本では見たことのないような珍しいフルーツがたくさん売られています。道ばたにはいろいろなフルーツの木が生えていて、お腹が空いた人が木からもいでそのまま食べている姿を見かけることもあります。年中夏のような気候のジャマイカですが、フルーツにはそれぞれ収穫の時期があり、季節によって手に入るものが変わります。

(↓下記に珍しいフルーツを紹介します)

アキー/サワーソップ/ジャックフルーツ/スターアップル

オタハイチアップル/タン布林/グアバ/ナセベリー/ジュンプラム/ブレッドフルーツ/シュガーアップル



木の枝でアキーを収穫中の大家さん

ジャマイカは梅雨に入ったようで、毎日午後になると雨が降ります。最近、ぎゅうぎゅうになりながら軒下で雨宿りをしているジャマイカの人たちの、微笑ましい光景をよく目にします。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。次回は、私の好きなジャマイカの食べ物についてご紹介したいと思います。それでは、リックルモア！(またね！)